

滋賀県損保特殊暴力対策協議会総会を開催

～損害保険事業の健全な発展のため、損保業界と警察との連携の重要性を再確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、10月11日（水）に滋賀県草津市内で、第43回滋賀県損保特殊暴力対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など29名の出席がありました。

開会に際し、平柳 義人会長（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 滋賀支店長）から、日頃からの関係各位の連携・協力に謝辞を伝えるとともに、「一般消費者の皆様の利益を守り、保険制度全体に対する社会の信頼を維持していくためにも、損害保険業界として、保険制度を悪用する保険金詐欺や不当請求に対し、断固・毅然とした姿勢で対処していかなくてはならない」との挨拶がありました。

また、来賓の公益財団法人滋賀県暴力団追放推進センター 中村 幸雄 専務理事から、「暴力のない明るく住みよい滋賀県を作るために、暴力団排除活動に引き続きの協力をお願いしたい」とご挨拶があったほか、顧問の滋賀県警察本部刑事部 安土 雅樹 組織犯罪対策課長からは、「現状、県下において暴力団の目立った動きはないものの、警戒区域外であることから、抗争がいつ県下に飛び火してきてもおかしくない。また、匿名流動型と呼ばれる犯罪グループによる特殊詐欺も増加しており、暴力団を含めた犯罪グループに対して、強い危機感をもって警戒と取り締まりにあたっている。滋賀県の安全・安心な暮らしを守るために、引き続き関係各位の連携と情報共有に協力したい」、同じく顧問の同県警本部交通部 古谷 英生 交通指導課長からは、「自動車保険は被害者救済という社会的使命を果たしているが、これを悪用した保険金詐欺も後を絶たない状況である。健全な保険制度の実現に向けて、交通事故ならびに保険犯罪の抑止に努めるのでさらなるご協力を願いたい」とご挨拶がありました。

続いて、当協議会の宇野会員（損保ジャパン社）から、令和4年度の活動報告および令和5年度の活動計画の提案があり、令和5年度も情報交換および当協議会活動の活性化、弁護士会との連携強化、自動車盗難等防止対策の推進、不正不当な請求を行う特定修理業者等に関する情報交換・対策に取り組むことが満場一致で承認されました。

次いで、当協議会の北浦会員（東京海上日動社）から、「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が力強く読み上げられ、最後に、当協議会の安生会員（あいおいニッセイ同和損保社）の「社会公共性の高い損害保険事業の健全な発展のため、警察等とも連携して保険金犯罪の根源を断ち切るべく様々な対策に全力で取り組んでいく」旨の挨拶で第一部を終了しました。

第二部では、滋賀県警察本部 交通部交通指導課の 太田 隆之 調査官から、「交通事故をめぐる保険金詐欺」と題して、県内の交通事故発生状況や横断歩道利用者ファースト運動、交通事故をめぐる保険金詐欺の類型に関する説明の後、最近検挙に至った偽装交通事故による保険金詐欺事件の詳細について紹介があり、「当事件については新聞をはじめとするマスコミで大きく報道されたことにより、保険制度の健全な運営が重要である点をアピールすることができたと考えており、今後も警察への情報提供・捜査協力をお願いしたい」とのご講演をいただき、知見を広めることができました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。



開会挨拶を行う平柳会長
(あいおいニッセイ同和損保)



挨拶を行う中村氏（暴追センター）



挨拶を行う安土顧問（県警刑事部）



挨拶を行う古谷顧問（県警交通部）



活動報告・活動計画を発表する宇野会員
（損保ジャパン）



決議文を読み上げる北浦会員
（東京海上日動）



閉会挨拶を行う安生会員
（あいおいニッセイ同和損保）



特別講演を行う太田参与（県警交通部）



司会を行う小森代表幹事
（三井住友海上）



特別講演の様子